

情報通信部会長報告

1. 会議名 第2回情報通信部会（オープン部会）
2. 日時 2023年10月17日（火）13：00～14：30
3. 場所 当所7階 ホール80
4. 講演 (1) 「DBJ健康経営格付の概要について」
(株)日本政策投資銀行 サステナブルソリューション部 次長
楠畑 篤志 氏
(2) 「健康経営の取組みとDBJ健康経営格付県内初取得について」
(株)秋田ケーブルテレビ
取締役 コーポレート本部長 兼 東京支社長
飯島 紀之 氏
5. 情報提供 「エイジフレンドリーパートナー制度の概要及び事例紹介」
秋田市福祉保健部 長寿福祉課 主任 冨野 将治 氏
6. 出席者 22名（部会員7名、他部会員15名）

講演(1)「DBJ健康経営格付の概要について」

●DBJサステナビリティ評価認証融資について

- ・ DBJが開発したスクリーニングシステムにより**企業の非財務情報を評価して優れた企業を選定し融資するものであり、環境経営およびサステナビリティ経営を評価する「環境格付」、防災および事業継続の取り組みを評価する「BCM格付」、健康管理および健康経営を評価する「健康経営格付」の3つのメニューを用意している。**



●DBJ健康経営格付スクリーニング

- ・ 「**心身の健康**」、「**働きやすい環境づくり**」、「**エンゲージメント**」の3分野（約80項目）により、**企業における人と組織の活性化や企業価値の向上に繋がるアップサイドの取組を評価している。**

●DBJ健康経営格付融資の評価後の対話

- ・ **希望に応じて評価結果の詳細のフィードバックを無料で実施しており、今後の取り組みの高度化をサポートしている。**

講演(2)「健康経営の取組みとDBJ健康経営格付県内初取得について」

●健康経営の取組について

- ・多角化する各事業をさらに成長させるため、**従業員が生き生きと健康的に働くことが出来る環境づくり**を重要視し、健康経営に取り組むことにした。
- ・当社がやりたい姿を実現するためには「**人材**」「**採用**」「**風土**」**向上の取組を推進**していく必要があると判断し、各項目において多様な働き方に対応できるような制度を検討し、取り入れることにした。



●エンゲージメント向上への取組について

- ・エンゲージメントとは**従業員が組織に対して自発的な貢献意欲を持ち主体的に取り組んでいる状態を表した指標**のことをいい、**経営指標に直接的な影響を与える**ということで、上場企業でも採用している企業が多い。
- ・エンゲージメントの測定を行った結果、**各組織、社員のコンディションを可視化**することができ、**課題をより早期に把握**することで、**経営状態をより良い状態へ持っていく**ことができた。

情報提供「エイジフレンドリーパートナー制度の概要及び事例紹介」

●エイジフレンドリーシティについて

- ・2007年に世界保健機関（WHO）が提唱した**高齢化へ対応したまちづくり実現への取組**。秋田市は少子高齢化等に伴い、**市民の約3割が65才以上**となっており、現在エイジフレンドリーシティ実現に向けて取り組んでいる。



●エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業について

- ・秋田市では、**高齢者や障がい者にやさしい取組を継続して行う企業や事業者等を「エイジフレンドリーパートナー」として登録し、令和5年10月11日現在137事業者が登録している。**
- ・**パートナー登録のメリット**
 - ①社会・地域貢献：企業の社会的責任
 - ②企業PR（広報・番組等）
 - ③参加可能事業（公開講座、エイジの日、スタンプラリー）
 - ④建設工事入札参加者資格、格付け基準の加点対象（加点5点）
- ・**ビジネスの拡大や地域の活性化に向け、ぜひ登録いただきたい。**